

# 衆議院環境委員会ニュース

平成 28. 4. 5 第 190 回国会第 7 号

4 月 5 日（火）、第 7 回の委員会が開かれました。

## 1 ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律案（内閣提出第 40 号）

- ・丸川環境大臣、井上環境副大臣、黄川田外務大臣政務官、白石環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成一自民、民進、公明、共産、おおさか、生活）

（質疑者及び主な質疑内容）

### 江 田 康 幸君（公明）

- ・高濃度ポリ塩化ビフェニル（以下「PCB」という。）廃棄物の期限内処理に向けて、その前提となる高濃度 PCB 廃棄物等の実態を把握するための掘り起こし調査の今後の取組方針及び見通しについて、環境省に伺いたい。また、掘り起こし調査に当たっては、地方自治体任せでなく、国もしっかり後押しをしていく必要があると考えるが、白石環境大臣政務官の見解を伺いたい。
- ・中小企業に対しては、高濃度 PCB 廃棄物の処理費用の負担を軽減するための支援が必要であると考えているが、白石環境大臣政務官の見解を伺いたい。
- ・期限内処理の達成のため、保管事業者が不明などの場合に行われる都道府県等による高濃度 PCB 廃棄物の処分に関する代執行を国が支援する必要があると考えるが、丸川環境大臣の見解を伺いたい。

### 塩 川 鉄 也君（共産）

- ・高濃度 PCB 廃棄物の処理については、当初想定よりも費用が膨らんでいる。費用が膨らんだ理由及び今後必要となる費用の見通しについて環境省に伺いたい。
- ・PCB 製造事業者等に対する協力の要請を規定した第 15 条の趣旨を踏まえ、PCB の製造事業者等に対しても費用の負担を求めていく必要があると考えるが、丸川環境大臣の見解を伺いたい。
- ・経済産業省が電気事業法に基づき把握している使用中の PCB 使用電気工作物の量を踏まえ、今後の処理の対象量を見込む必要があると考えるが、丸川環境大臣の見解を伺いたい。

### 田 島 一 成君（民進）

- ・PCB 廃棄物処理基本計画は、現行の環境大臣により

定めるものから、閣議決定により定めるものへと変更となるが、その内容に具体的差異はあるか丸川環境大臣に伺いたい。また、3つの事項が同基本計画に追加された理由とその具体的内容を環境省に伺いたい。

- ・本改正案に規定される環境大臣の事務執行について、現行法で定められている環境大臣の事務執行と比べ要件が緩和されているように見受けられるが、その具体的な条件を環境省に伺いたい。
- ・中間貯蔵・環境安全事業株式会社（以下「JESCO」という。）の事業所において従事している、PCB 廃棄物処理作業者の人員確保の重要性に対する丸川環境大臣の認識を伺いたい。

### 中 島 克 仁君（民進）

- ・環境省は JESCO との関係性を明確にし、PCB 廃棄物処理事業に係る責任の所在を明らかにするとともに、JESCO に対するガバナンスを強化する必要があると考えるが、丸川環境大臣の見解を伺いたい。
- ・環境省が策定した掘り起こし調査マニュアルにおける調査対象者は、全事業者ではなく自家用電気工作物設置者に限定されており、PCB 廃棄物や使用製品の所有実態についてその全体像を把握するには不十分であると考えているが、丸川環境大臣の見解を伺いたい。

### 小 沢 鋭 仁君（おおさか）

- ・ジョセフ・スティグリッツ米コロンビア大教授が、景気を刺激する手段として炭素税の導入を主張しているとの記事に対する丸川環境大臣の感想を伺いたい。
- ・PCB 廃棄物の処理が進まなかった理由として、人員確保の問題以外に、JESCO の処理能力の限界があるのではないかと考えるが、環境省の見解を伺いたい。
- ・公害問題は基本的には原因企業が責任を持つのが大原則であるが、責任がどこにあるかとは別に、全体の解

決策を提示することが国の役割であると考えて、丸川環境大臣の考えを伺いたい。

### **玉 城 デニー君（生活）**

- ・電気事業法に基づく使用中の高濃度PCB使用電気工作物の把握状況及び今後の使用廃止へ向けた取組について経済産業省に伺いたい。
- ・1993年に米軍が作成した「キャンプ・キンザーの有害物質による汚染の可能性に関する資料」には、農薬やPCBに汚染された油類等が原因の魚の大量死がしばしば発生していたと明記されている。このような過去の使用が原因で土壌汚染が発覚した場合に、日米地位協定の環境補足協定は機能するのか外務省の見解を伺いたい。